

平成24年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

- 実施日 平成24年10月15日(月)
 - 研修先 一宮市 一宮斎場・一宮市環境センター・一宮市衛生処理場
愛知県一宮市奥町字六丁山24番地
 - 参加人数 20人(センター議員11人、長浜市・米原市職員2人、センター職員7人)
 - 研修目的 当センターこもれび苑は、S54年の開設から今年で33年目を迎え、施設が老朽化しており、また、これに伴う施設の維持修繕経費も年々増加しています。一方において、一昨年から火葬件数が増加しており、これに伴う利用ニーズの十分な対応が必要となっています。
このため、当センター議会では、新斎場施設の整備を、新最終処分場建設の次なる最重要課題として位置付け、今後、新斎場施設の建設を検討するに際しての参考となると考え研修を実施いたしました。
今回研修先とした一宮斎場は、平成23年4月から供用開始された最新の火葬施設です。既存の斎場施設が設置されて以来約50年が経過し、施設の老朽化が進んでいたところから、建て替えによる新しい施設を整備されたものです。
この施設建設にあたっては、PFI方式を導入し、建設から運営までを民間活力を活かすことで、より快適で安全なサービスの提供と財政支出の削減及び平準化を達成されています。
ここには、斎場のほか、環境センター(ごみ焼却施設)、衛生処理場(し尿処理施設)が同一敷地内に集約して設置されており、このことも参考になると考えました。
- ※ PFI事業
PFI(Private Finance Initiative:プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

研修内容

10:30 クリスタルプラザ出発

12:50 一宮斎場 到着

研修開始

一宮市環境部清掃対策課の職員の方から一宮斎場の施設概要について説明を受ける。その後、同職員の方から施設建設に至るまでの経過、施設の運営および維持管理についての説明を受け、終了後質疑応答が行われた。

施設見学

まず最初に一宮市環境センターを見学し、ごみ焼却施設について説明を受けました。次に一宮市衛生処理場を見学し、し尿等の衛生処理についてを、最後にメインである一宮斎場を見学し、最新の火葬施設や設備についての現地説明を受けて終了。

15:30 一宮斎場 出発

18:00 クリスタルプラザ到着

◆研修の様子



